

調停事項の価額 ○○, ○○○ 円
 ちょう用印紙額 ○, ○○○ 円
 予納郵便切手の額 2, 600 円

この各欄への記載方法は、裁判所にお尋ねください。

調停：債務弁済協定
 (□については、レを付したもの)

受付印

申立書は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。

(債務弁済協定)
調 停 申 立 書
 東京簡易裁判所 御 中

申立書を作成した日又は裁判所へ提出する日を書いてください。

令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

申立人の住所・氏名・電話番号等（会社の場合は、本店所在地、会社名、代表者氏名）
 郵便番号 〒 ○○○ - ○○○○
 住 所 東京都墨田区○○4丁目○○番○○ ○○マンション○○号室
 氏 名 墨 田 太 郎 印
 送達場所 上記住所地 次のとおり
 東京都台東区○○2丁目○番○
 電 話 ○○ - ○○○○ - ○○○○
 ファクシミリ ○○ - ○○○○ - ○○○○

正本、副本ともに、あなたの認印(スタンプ式は不可。)を押してください。申立人が会社である場合は代表者の印を押印します。

「送達場所」とは、裁判所からの郵便物を受け取る場所を指します。住所以外の場所で受け取ることを希望する場合は、「次のとおり」にチェックし、その場所を記載してください。

相手方の住所・氏名・電話番号等（会社の場合は、本店所在地、会社名、代表者氏名）
 郵便番号 〒 ○○○ - ○○○○
 住 所 東京都千代田区○○3丁目○○番○○
 ○○○ 株式会社
 氏 名 代表者代表取締役 ○ ○ ○ ○
 (取扱支店の名称・所在地) ○○株式会社○○支店
 東京都墨田区○○5-2-3 ○○ビル3階
 電 話 ○○ - ○○○○ - ○○○○

相手方の住所、氏名を書いてください。
 (相手方が会社であるときは、履歴事項全部証明書等を見て、本店所在地、会社名、代表者の氏名を書いてください。)

相手方住所欄に記載した住所が、提出する裁判所の管轄内でない場合で、支店又は営業所が管轄内にあるときは、その支店等の名称・所在地を、この記載例のように書いてください。なお、連絡先の電話番号がわかる場合は、記載してください。

申立書には、連続するページ数を書いてください。

1

調停：債務弁済協定
 (□については、レを付したもの)

申 立 の 趣 旨
 債務額を確定したうえ債務支払方法を協定したい。

あなたが調停手続で、どのような解決を求めるのか、その結論を簡潔に書いてください。

紛 争 の 要 点
 1 債務の種類
 借入金債務 保証債務(借受人)
 立替金 求償金 売買代金

債務の種類に該当するものを選択し、レを付してください。該当するものがないときは、「その他」にレを付し、その種類を括弧内に書いてください。

その他 ()

2 契約の状況等

(1) 契約日 令和 平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

(2) 契約時の債務額 2,000,000 円

(3) 現在の債務額 1,500,000 円 (元金 1,234,567円)

(契約番号等 ○○○-○○○○○-○○○○○)

3 申立人は、上記債務を契約のとおり相手方に支払うことが困難であるため、残債務額を確定し、その支払方法について協定したい。

添付書類

履歴事項全部証明書 金銭消費貸借契約書 取引履歴書

督促状写し

契約日、契約時の債務額及び現在の残債務額を書いてください。

申立書の添付資料を記載します。例示されている書面(証拠書類等)があれば該当の口にチェックしてください。例示がない場合は、空欄の口にチェックして、その書類の名称を記載してください。

申立人又は相手方が会社の場合は、その会社の履歴事項全部証明書等を添付します。また、証拠書類となる金銭消費貸借契約書、請求書、取引履歴書などがありましたら、その写しを添付してください。